

2020年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	伊藤 直子	職名	教授	学位	学士(社会学)(佛教大学 1996年)
----	-------	----	----	----	---------------------

研究分野	研究内容のキーワード
公衆衛生看護学 地域看護	公衆衛生看護 介護保険 地域包括ケア

研究課題
行政における看護職である保健師の機能と役割について考察する。また、それらの機能を学ぶための学士課程実習での教育方法を検討する。 地域包括ケアシステムにおける看護職の機能について検討する。

担当授業科目
公衆衛生看護学概論(後期)必修 15/15 コマ 疫学(前期)選択 15/15 公衆衛生看護管理演習(後期)選択 15/15 公衆衛生看護学実習(通年)選択 看護総合演習(通年) 15/15 看護総合実習(通年) 地域母子保健(前期)(助産別科) 8/15

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 公衆衛生看護学概論 】 「公衆衛生看護学概論」では、2018年度より1年生後期科目となり、2年目となった。1年目の学生からの毎時の授業コメント及び授業評価アンケートを踏まえ、初年次の学生に地域で看護を実践する視点の基盤を養成するための授業内容を検討した。特に、今年度は途中で遠隔授業に変更されたため、授業理解度を把握する毎時の課題に対して、一人一人へコメントを返信した。そのことにより、学生は教員との双方向のコミュニケーションが図れたとの意見が多くみられた。1年生であることを踏まえると、遠隔ではあったが、主体的学習を促すうえでも個別の対応が効果的であると考え。
授業科目名【 疫学 】 「疫学」では、本年度遠隔授業での展開となった。従来、グループワークを取り入れた授業展開をしているが、今回は、個人での演習作業を中心の展開としたが、授業成績及び授業評価アンケートより計画している状況は概ね達成できていると評価できる。今年度も授業展開は、教材事例の検討を毎年度実施し、新人保健師が遭遇する事例を精選し、思考判断の醸成に努めた。保健師として問題解決していく充実感を味わえるような工夫を行なっている。保健統計に苦手意識を持っている学生も理解できるよう、授業時間外においても希望する学生には個別に対応している。
授業科目名【 公衆衛生看護学実習 】 「公衆衛生看護学実習」は、実習施設での実習を5週間実施できた学生もいたが、コロナ禍のため1週間から2週間しか現場に行くことができない学生もいた。残りの実習期間を学内実習として経験することになった。学生の学習意欲及び効果が得られるよう教員間の情報交換を密に行いながら、教育支援を行った。また、実習指導者および施設と教員間の共有も有効に機能し、学生の教育支援が効果的に運営された。最後の実習のまとめでは、現場実習の期間の差と、達成状況に大きく差は見られず、全員の学生が到達レベルに達することができた。また、今年度も実習の成果指標である、保健師国家試験結果は、全員合格したことにより、概ね保健師選択学生の学修成果は評価できる。

授業科目名【 看護総合演習 】【 看護総合実習 】

「看護総合演習」「看護総合実習」は4年生が最終的な看護の統合として、自身が自ら演習及び実習領域を選択する科目として位置づけられている。今年度はコロナ禍のため、いずれも遠隔での実習となった。施設の指導者と密に連絡を取りながら、zoomによる現場からの指導者とのディスカッションを行いながら、学内実習を勧めた。今年度も受講した学生は、公衆衛生看護学実習において学習した生活エリアの現状から就労者の健康支援が結びつき、これからの包括的な健康管理のあり方に対して、道筋が明確になり、満足度や充実感が高い実習であったと評価している。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本看護協会会員	訪問看護委員会副委員長 (1996年4月～1997年3月) 訪問看護委員会委員長 (1997年4月～1998年3月) 介護支援専門員支援委員会委員長 (1997年4月～2004年3月) 認定看護管理者研修委員会委員 (2001年4月～2006年3月) 介護保険関連委員会委員長 (2004年4月～2006年3月) 第46回日本看護学会—看護管理—学術集会抄録選考委員 (2014年3月～2014年9月) 消費税対応検討委員会委員長 (2015年11月～2016年7月)	1977年4月～現在に至る
日本公衆衛生学会		1979年4月～現在に至る
日本地域看護学会		1999年4月～現在に至る
日本在宅ケア学会		2000年9月～現在に至る
日本保健医療社会学会		2002年4月～現在に至る
日本病院管理学会		2002年9月～現在に至る
日本高齢者虐待防止学会		2003年8月～現在に至る
日本看護教育学会		2003年2月～現在に至る
日本健康教育学会		2005年6月～現在に至る
日本看護研究学会		2008年4月～現在に至る
日本看護科学学会		2008年4月～現在に至る
日本臨床救急医学会		2011年8月～2016年3月

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
福岡県介護保険審査会	専門調査員	2007年7月～現在に至る
北九州市社会福祉法人等審査会	委員	2012年4月～2020年3月
大分県地方独立行政法人評価委員会	委員	2012年6月～現在に至る
日本私立看護系大学協会	理事（業務執行理事）	2013年7月～2018年7月
粕屋町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定協議会	委員	2005年4月～現在に至る
粕屋町地域包括支援センター・地域密着型介護サービス運営協議会	委員	2007年4月～現在に至る
北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議調整会議	構成員	2012年4月～現在に至る
北九州市高齢者支援と介護の質の向上介護予防・高齢者活躍推進に関する会議	代表	2013年4月～現在に至る
北九州市健康づくり推進プランの推進にかかわる意見交換会	構成員	2014年2月～現在に至る
北九州市認知症施策推進会議（北九州市オレンジ会議）	構成員	2013年4月～現在に至る
全国保健師教育機関協議会	社員	2015年4月～現在に至る
福岡県総合計画審議会	委員	2016年7月～現在に至る
行橋市地域保健計画策定委員会	委員	2017年12月～2018年2月24日
行橋市地域保健計画推進委員会	委員	2018年2月25日～現在に至る
北九州市健康づくり活動表彰選考	審査員	2018年10月1日～現在に至る

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

学校法人西南女学院 評議員 2005年4月～現在に至る

西南女学院大学 教務部長 2013年4月～現在に至る

- ・教務委員会 委員長
- ・教務人間科学小委員会 委員
- ・教職課程委員会 委員
- ・教員免許状更新講習会 委員
- ・大学点検評価改善会議 FD部門 部門長
- ・教育の質保証プロジェクト会議 代表
- ・教学マネジメント検討会 構成員
- ・3部門会議(教務部・学生部・入試部) 構成員
- ・教学IR推進室 構成員